

【普通作物】の【強風・大雨】対策について

<11月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【普通期水稻】（成熟期）

（１）予想される被害状況

- ① 強風による倒伏が発生する。
- ② 浸・冠水や土砂の流入が発生する。

（２）事前対策

- ① 浸・冠水しやすい水田では、溝切りや排水溝の整備を行う。
- ② 成熟期にあるものは速やかに収穫する。

（３）事後対策

- ① 浸・冠水したところでは、速やかに排水する。
- ② 倒伏した株は隣の株に乗せたりして、穂が地面に接しないようにする。
※倒伏の状態によっては、株を動かすと損傷を大きくするので注意する。
- ③ 倒伏により穂発芽や病害虫被害の恐れのあるところでは、早めに収穫する。
穂発芽等の被害箇所は刈分けして、全体の品質が低下するのを防ぐ。
- ④ ほ場に飛散したゴミは、作業や機械に支障を及ぼすので早めに除去する。

【大豆】（成熟期）

（１）予想される被害状況

- ① 倒伏が発生する。

（２）事前対策

- ① 浸・冠水に備え、溝切りや排水溝の整備を行う。

（３）事後対策

- ① 浸・冠水したら速やかに排水する。
- ② 速やかに排水を行い、成熟期にあるものは収穫する。

【秋ソバ】（成熟期）

（１）予想される被害状況

- ① 風雨による株の倒伏が発生する。

（２）事前対策

- ① 溝切りや排水溝の整備など排水対策を行う。

（３）事後対策

- ① 速やかに排水を行い、収穫期にある場合は速やかに収穫する。

【ムギ】（播種期）

（１）予想される被害状況

- ① 大雨で播種作業の遅れや発芽不良となる。
- ② 湿害により生育が不良となる。

（２）事前対策

- ① ほ場周囲及び畦間に排水溝を設置する。
- ② 播種時期の遅れに応じて、播種量を多くする。

（３）事後対策

- ① 欠株が多い場合は、速やかに播き直しを行う。